

明智光秀を描く 戦乱の時代を駆けた英雄たち

- 明智光秀公ゆかりの史跡巡りウォーク (午前) 日帰り
- 日本大正村 大河ドラマ館などの街歩き (午後)

①	歩行距離 5.74 km 予備時間 20分	歩行時間 1時間55分 全行程 3時間25分	休憩・昼食・観光 70分 最大標高差 80m
②	歩行距離 1.8 km 予備時間 10分	歩行時間 40分 全行程 2時間00分	休憩・昼食・観光 70分 最大標高差 15m

町歩きで有料施設の大河ドラマ館、大正ロマン館、大正村資料館、大正時代館の4館に入館します。全館共通入館料はオプションで720円/人です。各自でお求めください。

はじめに

2018年秋に東海自然歩道恵那コースの企画で、偶然にも2020年大河ドラマは明智光秀の半生を描いた『麒麟がくる』と情報を得ました。明智光秀の出生地は可児市の明智長山城と恵那市明智町が有力視されています。調査を始めると、可児市「名鉄明智駅」と恵那市「明智線明智駅」があり、二つの明智駅を起点に明智光秀ゆかりの美濃国を歩く計画です。

『麒麟』とは

王が仁のある政治を行う時に必ず現れるという聖なる獣「麒麟」。民を戦乱の苦しみから解放してくれるのは誰なのか。物語は本能寺に向かいます。  
(仁：孔子の教えで、私的なわがままを押さえ、人間関係基本の礼、すなわち社会的規範に従うこと。日本では古代の仁徳天皇、中世では明智光秀)

明智光秀生誕の地

明智光秀は1528年3月10日千畳敷公園の落合岩(土岐明智城・多羅峠)で生まれた伝説と、産湯の井戸があります。



ガイドさんは駅で合流解散  
大正村広場 大正浪漫亭  
集合 9:00 観光案内所 (G) B  
解散 15:00 大正村広場

の「決ゼリフが人気」  
1957年「この桜吹雪が目に入らぬか!」  
遠山の金さんは明智遠山家の6代目。

明智城は遠山景重の居城として築城された。

特集: 明智光秀像を描く

1579年10月丹波攻略に向かった明智光秀に対し八上城を守る波多野秀治は籠城を続けた末、「もし開城を迫られるならば、波多野一族の保証と光秀殿の母御を差し出されよ。」と申し出た。母御のお牧は「平和のためなら喜んで人質になりましょう。」光秀を励まし八上城に入った。降伏した波多野氏は恭順の礼を尽くすため安土城に向かったが、織田信長から即刻切腹を命じられた。八上城では、光秀公の前で母お牧は処刑された。

『ときは今 天が下しる 5月哉』

1582年5月、織田信長から「毛利平定のため西国へ発向せよ。ただし丹波と近江の領地を召し上げる。」と過酷な命が下った。西国出陣を前にして1582年5月28日愛宕参詣の夜の連歌の会で微妙な表現で上の句を詠んだが孤高の武将光秀公の胸中は揺れていた。  
1582年6月20日軍を立てた光秀公は老坂を登りつめ丹波口の三路に至った。右すれば西国備中へ、左に降りれば京に至る。人生はいつも三叉路に立たされており、光秀公は13,000人の兵力で躊躇なく左へ降り桂川を渡って京に入り、一路本能寺に向かった。

お牧の方墓所 (敵は本能寺にあり)

1743年(寛保三年)に建てられたこの石塔は当時の世評を配慮してか、光秀公と同じく「南阿弥陀如来」とだけ刻んである。傍らにそびえる高野槇の老木は樹齢数百年を重ね、ご神木として崇拝されている。古くから「甘酒まつり」が続いている。入口には「敵は本能寺にあり」と刻まれた石塔がある

日本大正村 (①~⑬順に訪問予定)

恵那市明智町のレトロテーマパーク。1988年(昭和63年)恵那郡明智町に開村した。初代村長は高峰三枝子、2代目は司葉子、2015年に3代目で竹下景子が就任した。  
コース・・・①明智駅 ②大正村広場 ③大正路地 ④大正村役場 ⑤大正ロマン館(大河ドラマ館) ⑥旧三宅家 ⑦大正村資料館・大正の館 ⑧遠山桜 ⑨うかれ横丁 ⑩大正時代館 ⑪大正村浪漫亭 ⑫大正村広場 ⑬明智駅

午前の企画 行動データ

